

平成27年度 横浜市救急医療センター事業計画

1 事業目的

救急医療の公共性と重要性を十分に認識し、市内医療関係機関と連携、協調のもとに初期救急医療における夜間の応急的な診療を行う施設としての横浜市救急医療センターの運営を行うにあたり、効率的かつ創意工夫に基づいた取り組みをし、市全体の医療の質の向上に努めます。

2 施設概要

- (1) 所在地 横浜市中区桜木町1-1 (横浜市健康福祉総合センター内)
- (2) 延床面積 3,315.756㎡
- (3) 敷地面積 1,729.70㎡ (内、建物面積: 1,158.35㎡)
- (4) 構造 鉄筋コンクリート造、地上11階・地下2階・塔屋1建
- (5) 開設 昭和56年 5月11日

3 夜間急病センター

① 診療科目等

- (1) 診療科目 内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
- (2) 診療日 毎日
- (3) 診療時間 20:00 ~ 24:00

② 診療体制

(1) 職員数

ア センター長 1人

イ 常勤 11人 (事務職(事務責任者+事務職員) 6人, 看護職(看護主任+看護職員) 5人)

ウ 非常勤

医師・薬剤師・検査技師・放射線技師・看護師・事務員

(2) 夜間勤務体制

下表に示すように診療体制・人員配置を行います。

(単位:人)

		平日	土曜日	日・祝日	二連休	三・四連休	年末年始
医 師	内科	2	2	2	2	2	2
	小児科	1	2	2	2	2	3
	眼科	1	1	1	1	1	1
	耳鼻咽喉科	1	1	1	2	2	2
	小計	5	6	6	7	7	8
薬剤師		2	3	3	4	5	6
検査技師		1	1	1	1	1	1
放射線技師		1	1	1	1	1	1
看護師		5 (7)	7 (9)	7 (9)	8 (10)	9 (11)	9 (11)
事務員		4 (5)	5 (6)	5 (6)	6 (7)	6 (7)	6 (7)

※ 看護師・事務員の () 内は、常勤職員を含めた人数

本会指定管理より白抜き文字は増員、平成23年度より2連休の耳鼻咽喉科医増員

取扱患者数により__は3・4連休の薬剤師・眼科医を平成24年度から減員

平成25年度から小児科医を減員、年末年始の眼科医を平成24年度から減員

4 救急医療情報センター

① 医療情報センター業務（情報収集・提供業務）

- 従来実施されていた救急医療情報センター業務より準夜帯、及び日曜・祝日・年末年始において増員する人員配置が確保できるよう、委託業者と調整を行い、概ね、人員配置は次のとおりとします。

※ 白抜き文字は増員

月～水・金	0:00～18:00	18:00～21:00	21:00～24:00		
	2名	3名	2名		
木 曜	0:00～13:00	13:00～16:00	16:00～22:00	22:00～23:00	23:00～24:00
	2名	3名	4名	3名	2名
土 曜	0:00～12:00	12:00～15:00	15:00～20:00	20:00～23:00	23:00～24:00
	2名	4名	5名	4名	3名
日曜・祝日	0:00～7:00	7:00～8:00	8:00～13:00	13:00～16:00	16:00～18:00
	2名	3名	6名	5名	6名
	18:00～19:00	19:00～22:00	22:00～24:00		
	5名	4名	3名		
年末年始	0:00～7:00	7:00～8:00	8:00～13:00	13:00～16:00	16:00～18:00
	3名	5名	6名	5名	6名
	18:00～19:00	19:00～21:00	21:00～22:00	22:00～24:00	
	7名	6名	4名	3名	
年末年始	6名		6名		2名

② 看護師による相談業務

- 従来実施されていた相談・助言業務より2倍に増員し、更に時間延長し、特に日曜・祝日・年末年始においては24時間対応できる人員配置が確保できるよう、委託業者と調整を行い、概ね、人員配置は次のとおりとします。

※ 白抜き文字は増員

平 日	0:00～9:00	18:00～23:00	23:00～24:00	
	2名	3名	2名	
土 曜	0:00～9:00	13:00～18:00	18:00～23:00	23:00～24:00
	2名	3名	4名	2名
日曜・祝日	0:00～9:00	9:00～23:00	23:00～24:00	
年末年始	2名	4名	2名	

5 救急医療センター運営に必要な横浜市健康福祉総合センター内施設の維持管理

- 他施設管理者との協議の上、適切に行います。

6 円滑な医療連携を確保するための具体的な計画

- 二次救急を担当する横浜市内7カ所の小児救急拠点病院、病院群輪番制事業の当番病院、又、拠点病院や病院群輪番制事業体制では扱われていない眼科・耳鼻咽喉科の応需も含めた三次救急を担当する救命救急センターなどの後方病院との連携を図ることが大切と考え、横浜市救急医療センター職員と後方病院職員との医療連携の推進に引き続き取り組んで参ります。
併せて、本会が運営している横浜市北部夜間急病センター・横浜市南西部夜間急病センターとの間で日常的に情報交換を行い、後方病院との連携強化に引き続き努めます。

7 センター業務全般にかかるサービス水準の維持、向上に関する具体的な計画

- 患者や家族から最も求められることは少ない待ち時間で診療を受けたいということです。初期救急医療の需要は曜日、休日、月、季節、他の医療供給体制などの要因により大きな変動があります。そのため、横浜市医師会が横浜市救急医療センターを運営する際には、連休やインフルエンザ流行時など繁忙時は医師、薬剤師、事務職員等の柔軟な増員を行い、患者へのサービスの向上に引き続き努めます。

又、新しく導入した受付待人数確認システムにより本センター内での待人数確認はもとより、混雑時等にセンターの外で待つ方に対しても、携帯端末等により待人数の確認ができるようにして、引き続き患者の利便性を図ります。

8 センター機能を円滑に行う為の計画

- ① 事務処理のIT化の推進に引き続き取り組みます。

患者は1階で診療申込書を記載して受付し、発行された受付番号と自書の診療申込書を持って2階の希望診療科前で自身の受付番号が呼ばれるまで待機します。受診後、患者は2階で処方箋・会計票を看護師から手渡されて1階受付に提出し、受付では会計処理を、薬局では処方を行います。

以上、IT化した一連の事務処理と節電・資源エコの観点、及び患者サービスの一環としての会計・薬剤受取までの待機時間の短縮化を実現することにより受付～会計・薬剤受取までのスムーズな流れを図り、更なる市民サービスの充実を図ります。

- ② レセプトオンライン請求に引き続き取り組みます。

当センターもレセプトオンライン請求を目指し、レセプト電算化・電磁媒体による請求に取り組んで参ります。

- ③ X線装置のフィルムレス化に引き続き取り組みます。

X線像はフィルムレス化のシステムに改めており、処理の迅速化・デジタル化やスペース・管理の効率化、及び電子媒体による診療情報提供を図ります。

9 横浜市医師会が行なう市民広報を通じた広報の実施及び救急医療に対する市民啓発事業など市民向けの事業の計画

- ① ホームページのコンテンツ（内容）を充実させ、引き続きセンター事業や利用手続きなどを分かり易く発信して行きます。

- ② 横浜市医師会が発行している「みんなの健康」に夜間急病センター及び救急医療情報センターの利用案内を掲載し、多くの市民にセンターを知って頂くよう市民啓発に引き続き努めます。

- ③ 横浜市医師会が提供しているテレビ神奈川の番組「メディカルチェック・みんなの健康」において、夜間急病センター及び救急医療情報センターの利用案内や急病時の対応策を取り上げます。市民の方々が初期救急医療に対して関心を持って頂くよう引き続き働きかけをして行きます。

平成27年度 横浜市救急医療センター特別会計収支予算書

平成27年 4月 1日 から平成28年 3月31日 まで

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
I 事業活動収支の部					
1 事業収入	323,690,000	310,000,000	13,690,000	@12,000*73.7人*366日 年間 26,900人 H25決算28,396人	
1 診療報酬収入	323,690,000	310,000,000	13,690,000		
1 内 科	113,753,000	100,750,000	13,003,000		年平均 25.9人/日
2 小児科	83,887,000	82,150,000	1,737,000		年平均 19.1人/日
3 耳鼻咽喉科	82,130,000	84,940,000	△ 2,810,000		年平均 18.7人/日
4 眼 科	43,920,000	42,160,000	1,760,000	年平均 10.0人/日	
2 補助金等収入	245,440,000	255,670,000	△ 10,230,000	再指定指定管理料	
1 横浜市指定管理料収入	245,440,000	255,670,000	△ 10,230,000		
3 雑 収 入	1,010,000	1,010,000	0		
1 受取利息収入	10,000	10,000	0		
2 雑収入	1,000,000	1,000,000	0		
4 他会計からの繰入金収入	1,000	1,000	0		
1 一般会計からの繰入金収入	1,000	1,000	0		
事業活動収入計 (A)	570,141,000	566,681,000	3,460,000		

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
2 事業活動支出				
1 事業費支出	431,018,000	441,963,000	△ 10,945,000	
1 人件費支出	267,844,000	268,188,000	△ 344,000	
1 医師報酬支出	143,630,000	143,010,000	620,000	平日5名、土日祝6名、2連休3連休7名、年末年始8名
2 役員報酬支出	2,500,000	5,000,000	△ 2,500,000	
3 薬剤師会委託料支出	27,000,000	27,134,000	△ 134,000	平日2名、土日祝3名、2連休4名、3連休4名、年末年始6名
4 放射線技師会委託料支出	5,740,000	5,745,000	△ 5,000	1名/日
5 検査技師会委託料支出	6,345,000	6,578,000	△ 233,000	1名/日
6 常勤看護師給	29,158,000	27,801,000	1,357,000	5名
7 非常勤看護師給	33,500,000	33,283,000	217,000	平日5名、土日祝7名、2連休3連休8名、年末年始9名
8 非常勤事務員給	16,600,000	16,269,000	331,000	平日4名、土日祝2連休5名、3連休年末年始6名
9 法定福利費支出	3,371,000	3,368,000	3,000	
2 医療材料費支出	23,000,000	30,000,000	△ 7,000,000	
1 医薬材料費支出	23,000,000	30,000,000	△ 7,000,000	
3 使用料及び賃借料支出	3,450,000	2,000,000	1,450,000	
4 委託料支出その他支出	34,000,000	37,200,000	△ 3,200,000	
1 出勤旅費支出	30,000,000	34,000,000	△ 4,000,000	
2 医会出勤調整費支出	4,000,000	3,200,000	800,000	内科、小児科、耳鼻科、眼科各医会出勤調整費
5 救急医療情報センター事業費支出	102,724,000	104,575,000	△ 1,851,000	
1 オペレーター委託費	45,120,000	45,120,000	0	
2 小児救急電話相談委託費	57,600,000	57,600,000	0	
3 情報収集費	1,000	100,000	△ 99,000	
4 賃借料	1,000	100,000	△ 99,000	
5 事務委託費	1,000	100,000	△ 99,000	
6 その他委託費	1,000	1,555,000	△ 1,554,000	
2 共通管理費支出	119,287,000	120,294,000	△ 1,007,000	
1 人件費支出	45,888,000	45,063,000	825,000	
1 常勤事務員給	40,038,000	40,073,000	△ 35,000	6.5名相当
2 法定福利費支出	4,750,000	4,990,000	△ 240,000	
3 福利厚生費支出	1,100,000	0	1,100,000	

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
2 研究研修費支出	152,000	1,900,000	△ 1,748,000	
1 職員研修費支出	100,000	700,000	△ 600,000	
2 広告宣伝費支出	1,000	500,000	△ 499,000	
3 諸謝金支出	1,000	200,000	△ 199,000	
4 費用弁償費支出	50,000	500,000	△ 450,000	
3 建物管理費支出	32,000,000	32,914,000	△ 914,000	
1 会館保守費支出	32,000,000	32,914,000	△ 914,000	家賃、共通管理費他
4 委託料支出その他支出	41,247,000	40,417,000	830,000	
1 旅費交通費支出	340,000	300,000	40,000	
2 消耗品費支出	3,000,000	3,000,000	0	
3 通信運搬費支出	5,900,000	6,800,000	△ 900,000	
4 被服費支出	2,050,000	2,000,000	50,000	
5 修繕費支出	2,000,000	500,000	1,500,000	
6 印刷製本費支出	2,300,000	3,085,000	△ 785,000	
7 支払手数料支出	300,000	200,000	100,000	
8 光熱水料費支出	12,800,000	11,000,000	1,800,000	
9 交際費支出	100,000	300,000	△ 200,000	
10 保険料支出	1,500,000	1,620,000	△ 120,000	
11 消耗什器備品費支出	100,000	1,000,000	△ 900,000	
12 会議費支出	800,000	500,000	300,000	
13 租税公課支出	10,000,000	10,000,000	0	指定管理料消費税込のため
14 雑支出	57,000	112,000	△ 55,000	
3 他会計への繰入金支出	34,190,000	54,654,000	△ 20,464,000	
1 一般会計への繰入金支出	34,190,000	54,654,000	△ 20,464,000	共通経費＋一般会計退職給付引当資産へ充当分＋資金移動他
事業活動支出計 (B)	584,495,000	616,911,000	△ 32,416,000	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 14,354,000	△ 50,230,000	35,876,000	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動支出				
1 固定資産取得支出	100,000	100,000	0	
1 備品購入支出	100,000	100,000	0	
投資活動支出計 (D)	100,000	100,000	0	
投資活動収支差額 (E)=- (D)	△ 100,000	△ 100,000	0	
IV 予備費支出 (I)	0	0	0	
当期収支差額 (J)=(C)+(E)+(G)+(H)-(I)	△ 14,454,000	△ 50,330,000	35,876,000	
前期繰越収支差額 (K)	100,000,000	150,000,000	△ 50,000,000	
次期繰越収支差額 (L)=(J)+(K)	85,546,000	99,670,000	△ 14,124,000	